

保存版

令和2年度版

加東市 風水害 ハザードマップ

Kato City
Wind and Flood
Hazard MAP
2021



加東市
Kato City



はじめに



加東市長
安田 正義

近年、地球温暖化の影響などにより、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨など、これまでにない風水害が全国各地で発生し、甚大な被害をもたらしています。

市民の皆様には、この冊子により、自宅や職場にどのような風水害のおそれがあるのか、ご確認いただくとともに、状況に応じた適切な避難行動を行うために、掲載しております避難行動に関するフローチャートも参考にさせていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、避難先でのクラスター発生が懸念されますが、災害時の適切な分散避難ができれば、クラスター発生の危険性を低く抑えることができます。「自らの命は自らが守る」という考えのもと、この冊子を避難行動にご活用いただけますようお願いいたします。

令和3年3月

目次

災害に備えて

最近の豪雨の傾向	3
避難行動判定フローを確認しましょう	4
地域ぐるみで取り組む防災・減災	5
非常持ち出し品チェックリスト	5
避難情報の種類ととるべき行動	6
情報伝達の経路・メール配信サービス	6

風水害が近づいたら

風水害への備え	7
風が強いとき・大雨のとき、どうすればいいのか	8

風水害が起こったら

雨の強さ、降り方と災害発生の危険性等	9
河川の水位情報	9
大雨・洪水に関する注意報・警報について	10
土砂災害の種類と前兆現象	11
避難の心得	12

ハザードマップ

全域図	13
Map1	15
Map2	17
Map3	19
Map4	21
Map5	23
Map6	25
Map7	27
Map8	29
Map9	31
Map10	33
Map11	35
Map12	37
ため池ハザードマップ	39

小学校区	社	Map1・2・3・4・6	滝野東	Map1・2
	福田	Map1・3・4	滝野南	Map1・2・3
	米田	Map6・9・10・11	東条東	Map9・10・11・12
	三草	Map2・3・5・6・9	東条西	Map6・7・11
	鴨川	Map8・9・12		

いざというときの連絡先	41
避難施設一覧(令和3年4月現在)	41
インターネットによる情報入手先	42
テレビによる情報入手例	42
災害用伝言ダイヤルの利用方法	42

各地で発生した洪水災害をふまえ、平成27年に水防法が改正され、加古川水系で想定し得る最大規模の浸水想定区域図が県により公表されました。

このハザードマップは、想定最大規模の解析結果による浸水想定区域図をもとに作成しています。

これまでのハザードマップ(計画規模※)

※堤防等の施設整備の目標となる降雨

約100年に一度の大雨
流域平均雨量: 288mm/48時間

今回のハザードマップ(想定最大規模※)

※過去に観測された最大の降雨量に基づき想定される最大規模の降雨

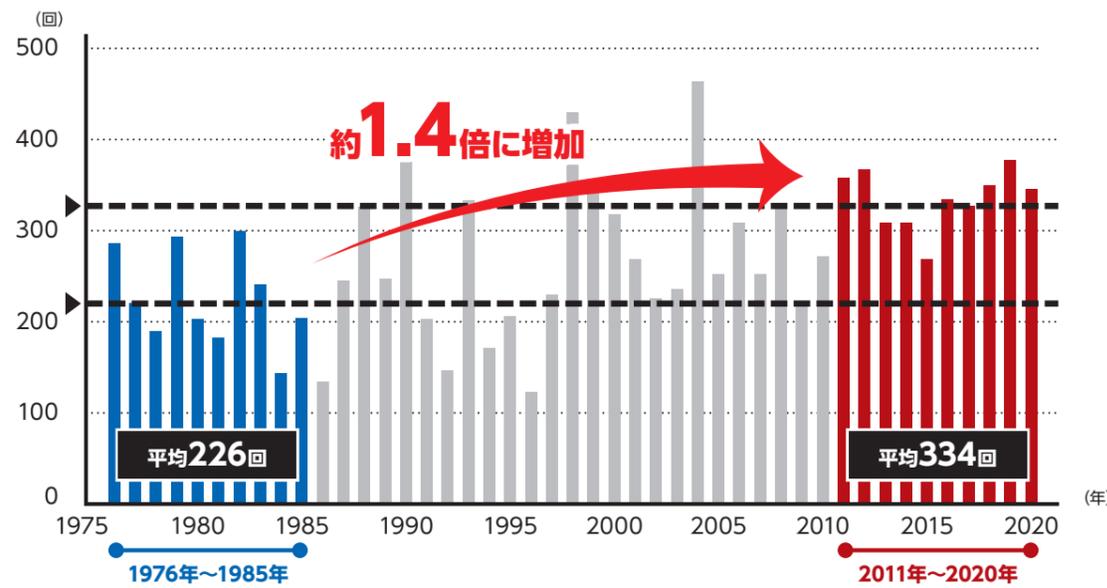
発生頻度は極めて低いが、理論上起こり得る最大の大雨
流域平均雨量: 750mm/48時間

最近の豪雨の傾向

近年、これまでに経験したことのないような豪雨が各地で頻発しています。これには、地球温暖化等による気候変動が影響していると考えられています。そのひとつの兆候として、昔に比べて豪雨の発生回数が大幅に増加している点が挙げられます。

下の図は、日本全国で1時間に50mm以上の短時間強雨を記録した回数を1976年から2020年までの間でグラフ化したものです。これを見ると、以前（1976年～1985年）は平均226回であったものが、近年（2011年～2020年）は平均334回と約1.4倍に増加している様子がわかります。

1時間降水量50mm以上の年間発生回数



このような状況から、新たに想定最大規模降雨時の洪水での浸水想定区域図※が公表されました。

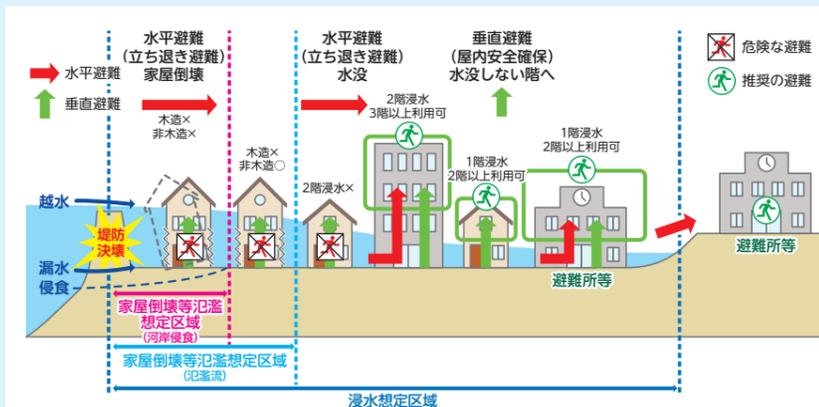
※浸水想定区域図とは、堤防の決壊や越水の可能性がある地点ごとに氾濫シミュレーションを行い、浸水の範囲・浸水の深さを計算しています。そして、それぞれの地点の結果をすべて重ね合わせて、図化したものです。

+ 浸水想定区域は、「ハザードマップ」P.13～P.38へ

家屋倒壊等氾濫想定区域は要注意!

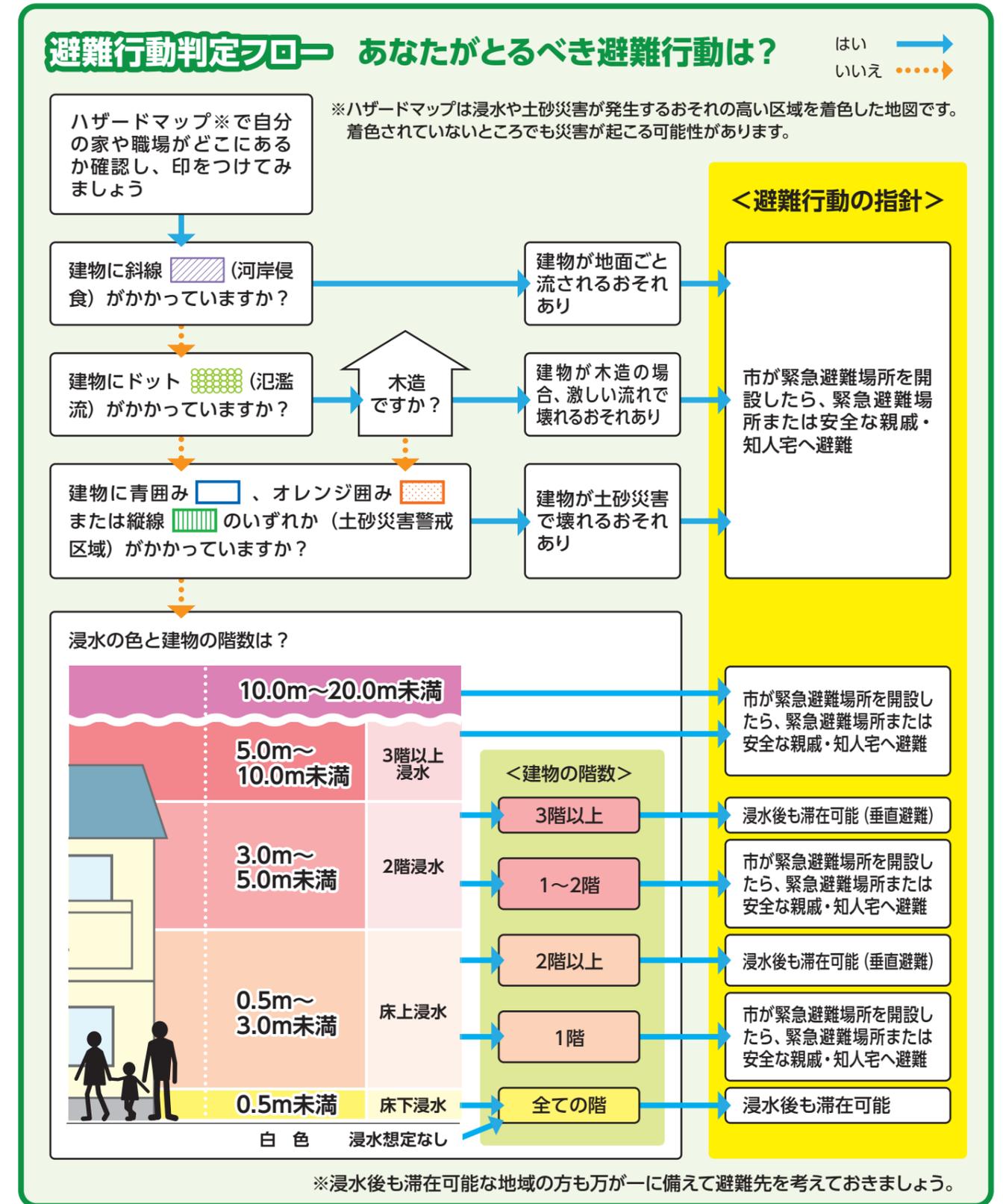
家屋倒壊等氾濫想定区域とは、堤防が決壊することで発生する激しい流れにより、家屋などが流されるおそれのあるエリアです。

- 河岸侵食**
家屋の構造に関係なく、土台ごと流されるおそれのあるエリア
- 氾濫流**
木造家屋が流されるおそれのあるエリア



避難行動判定フローを確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。「避難行動判定フロー」をハザードマップとあわせて確認し、居住する地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえで、とるべき行動や適切な避難先を確認してください。



地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、市をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など、様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地区の自主防災組織の活動に積極的に参加して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。



自然災害に備えて

災害時に最も頼りになるのは家族です。家族そろって防災について話し合みましょう。

1 家族一人ひとりの役割分担

火の始末の係、お年寄りや乳児などの安全確保の係、非常持ち出し品の係など、家族一人ひとりの役割分担を決めましょう。

2 家族間の連絡方法

災害はいつ起こるか分かりません。災害時に居場所を伝える方法を考えましょう(災害用伝言ダイヤル(P.42参照)の活用など)。

3 避難所の確認

自宅、学校、勤務先から避難所への最も安全な経路と、家族全員の待ち合わせ場所を決めましょう。

4 初期消火の方法を覚えましょう

消火器の置き場所や使い方を確認しましょう。

5 家の内外の安全チェック

家屋の耐震化、家具などの転倒防止策、家の中や外の整理整頓をしましょう。

6 非常持ち出し品・備蓄品のチェック

非常持ち出し品・備蓄品の食料や飲料水は賞味(消費)期限があります。定期的に確認しましょう。

7 家庭内備蓄品は「ローリングストック」で

普段の食事に利用する食材を多めに常備して、製造日の古いものから消費し、消費した分を新しく買い足し、いざというときのために備える方法です。



非常持ち出し品チェックリスト

避難が必要になった場合に備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておくといいでしょう。

食品・水	救急・安全関係	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(500mlペットボトル程度) <input type="checkbox"/> 乾パン・クラッカー・缶詰など、火を通さなくても食べられる物 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日頃から最低3日分、できれば7日分の食料と飲料水を、非常備蓄品として常備しておきましょう。	<input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) <input type="checkbox"/> 救急医薬品(ばんそうこう・傷薬・包帯) <input type="checkbox"/> 病人やお年寄りの常備薬 <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> 権利証書 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/>
日用品	衣類など	その他
<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 衣類(下着・上着) <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 洗面用具(歯ブラシ・石けん) <input type="checkbox"/> ほ乳びん <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

避難情報の種類ととるべき行動

避難情報等(加東市が発令)	警戒レベル	防災気象情報(気象庁が発表)	とるべき行動
災害発生情報	警戒レベル5	大雨特別警報	すでに災害が発生している状況です。この段階では安全な避難が難しい場合があります。空振りをおそれずに、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を終えましょう。
避難指示(緊急) 避難勧告	警戒レベル4	土砂災害警戒情報	いまずぐ安全な場所へ全員避難。速やかに緊急避難場所に避難しましょう。緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル3	大雨警報(土砂災害)洪水警報	高齢者や要介護者等は避難。高齢者、障害のある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル2	大雨注意報洪水注意報	ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
	警戒レベル1	早期注意情報	最新の防災気象情報などを確認しましょう。災害への心構えを高めてください。

情報伝達の経路・メール配信サービス

避難情報等は下図のような経路で伝達されます。



かとう安全安心ネット

メール配信サービス

気象・災害・避難情報などの情報をメールでお知らせします。
※登録料・情報料は無料です。

登録方法

- かとう安全安心ネット(<http://bosai.net/kato/>)にアクセス。
※右記のQRコードからアクセスすることもできます。
- 表示されるページ下部の「簡単登録はこちら」を選択してください。
- メール送信画面が開きますので、そのままメールを送信してください。
- 返信されるメールの「利用規約に同意して登録する」部分に書かれているURLへアクセスしたら、登録完了です。



災害時に支援が必要な方について

高齢者や障害のある方、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々など、災害時に何らかの支援が必要な人々に対しては、地域で協力しあいながら、安否確認、緊急避難場所への移動を支援しましょう。

高齢者・病人	肢体の不自由な方(車椅子)	目の不自由な方	耳の不自由な方
<ul style="list-style-type: none"> ●おぶって安全な場所まで避難する。 ●複数の介助者で対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●階段では2人以上の支援が必要。上りは前向き、下りは後向きにして移動する。 ●介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●声をかけ情報を伝える。 ●誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽くもってもらい、半歩前をゆっくり歩く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。 ●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



風水害への備え

台風や大雨による被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

外壁
モルタルの壁に亀裂はありませんか

ベランダ
植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

ブロック
傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか

排水溝
側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか

窓
●窓枠のがたつきはありませんか
●雨戸のがたつきはありませんか

屋根・とい
●不安定なアンテナはありませんか
●トタンがめくれていませんか
●瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
●雨どいにゴミや木の葉は溜まっていませんか

板塀
●板塀に腐りや浮きはありませんか
●板塀に支柱はありますか

その他
●ガスボンベは固定していますか
●商店などでは看板のぐらつきはありませんか
●ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
●庭木には添え木をしていますか
●窓ガラスが飛散しないよう対策をしていますか

家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう（無い場合は水のう）を設置することで、水が建物へ侵入するのを防げます。簡易的な措置として、植栽用プランターや灯油用ポリタンク、長めの板（はしごやテーブルでも可）などを、ビニールシートで包んで設置してもよいでしょう。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておく、より効果的です。

簡易水防工法例①
プランター+ビニールシート
土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。

簡易水防工法例②
簡易水のう+止水板
簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせて出入り口に設置し、浸水を防ぎます。

簡易水のうの作り方

家庭で使用しているごみ袋（40リットル程度の容量）を二重にして、中に半分程度の水を入れて袋の口を閉じます。

風が強いとき・大雨のとき、どうすればいいのか

日本各地で、毎年のように台風や集中豪雨によって浸水や土砂災害などの被害が発生しています。しかし、地震と違い、風水害はある程度事前に発生を予測することができます。危険が迫ったら早めに対応しましょう。加東市が被災しないとは限りません。

雨風が強まってきたら、まずテレビやラジオ、インターネット等で発表される気象庁からの注意報・警報・特別警報や、市などからの避難に関する情報に注意しましょう。その時でなければならぬこと以外での外出は控え、危険な場所には近づかないようにしましょう。

▶風が強いとき

室内では
●風圧や飛来物で、窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。
●雨戸を閉めたり、外側から板でふさいだり、内側からガムテープを×印に貼り、カーテンを引いておきましょう。

路上では
●看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるので、近くの頑丈な建物の中に避難しましょう。

屋外では
●電線が切れたり、瓦や物が飛んでくる危険があるので、浸水や土砂災害の危険が低ければ、無理に避難せず屋内にとどまりましょう。
●切れた電線には、絶対に触れないようにしましょう。

▶大雨のとき

室内では
●床下・床上浸水の危険があります。家財道具や貴重品を高い場所に移動しておきましょう。
●地下には避難しないようにしましょう。

車の運転中は
●豪雨で視界が悪くなると非常に危険です。
●あせらずに高台に移動しましょう。
●浸水でエンジンが停止したときは、無理に再始動させるとエンジンを傷めてしまいます。

河原では
●急な増水や土砂災害の危険があるので、河川敷から堤防の外に移動しましょう。
●今いる場所で雨が降っていないでもサイレンなどの警報が聞こえたら、すぐ退避しましょう。

内水氾濫と外水氾濫

水害には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなるにより起こる内水氾濫（内水氾濫）と、川の堤防が壊れたり、水があふれたりして発生する外水氾濫（外水氾濫）があります。まずは、水害の発生するしくみを理解して、緊急避難場所へ安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。

内水氾濫

外水氾濫

その場で雨が降っていないでも、川の上流で降った大雨により、下流で氾濫が発生することがあります。

雨の強さ、降り方と災害発生危険性等

※気象庁資料参照

	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量と予報用語	10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	●道路が川のようになる。	●傘は全く役に立たなくなる。 ●水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ●小規模のがけ崩れのおそれがある。	●山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険な地域では避難の準備が必要。	●土石流が起こりやすい。 ●多くの災害が発生する。	●雨による大規模な災害の発生のおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の条件によって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、各避難情報を発令します。各避難情報は、河川ごとに定められた水位の基準に達するなどの状況から判断し、発令します。

水位の名称等	避難情報の種類	平成16年台風第23号の水位実績			
		8.16m 板波	4.68m 大門	家原	吉井(上流) 東条川
氾濫危険水位 氾濫が起こる可能性がある水位	避難指示(緊急) 避難勧告の目安	加古川 5.00m	千鳥川 —	3.10m	河川名 3.90m
避難判断水位 避難判断の参考になる水位	避難準備・高齢者等避難開始の目安	4.20m	—	2.70m	3.30m
氾濫注意水位 水防団が出勤する目安になる水位	発表無し	3.50m	1.50m	2.30m	2.00m
水防団待機水位 水防団が準備する目安になる水位		2.00m	0.00m	1.40m	1.50m
ふだんの水位		-0.50m前後	-2.90m前後	0.00m前後	0.00m前後



大雨・洪水に関する注意報・警報について

次のような場合に、気象庁から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	警報よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による洪水災害(浸水害)が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 大雨により、重大な浸水災害や土砂災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な洪水災害(浸水害)が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想されるときに発表。特に、警戒すべき事項(土砂災害)(浸水害)(土砂災害、浸水害)を表題に明示して発表される。

※「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。

「記録的短時間大雨情報」が出されたら、一つ上の避難行動を

「記録的短時間大雨情報」とは、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析)したときに発表される情報です。

お住まいの場所や避難経路が土砂災害警戒区域に含まれる場合は、次のように対応してください

防災気象情報	大雨警報(土砂災害)	大雨警報(土砂災害)	大雨警報(土砂災害)
大雨警報(土砂災害)	+	+	記録的短時間大雨情報
	記録的短時間大雨情報	土砂災害警戒情報	土砂災害警戒情報
住民の対応	●避難の準備を行う。 ●危険な場所に近づかない。	浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域に含まれていない安全な場所に避難する。	浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域に含まれていない安全な場所に避難する。
			安全な場所に避難できていない場合、頑丈な建物の2階以上で、がけから離れた部屋に移動する。

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生危険度が高まったとき、気象庁と兵庫県が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら警戒レベル4避難勧告を発令しますので、土砂災害に厳重に警戒し、安全な場所へ避難してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、早めに避難行動をとってください。

土砂災害の危険度情報は、気象庁のホームページから確認することができます。

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>

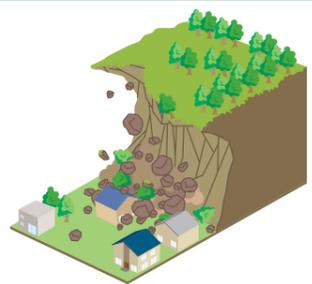
土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。

また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、市にご連絡ください。

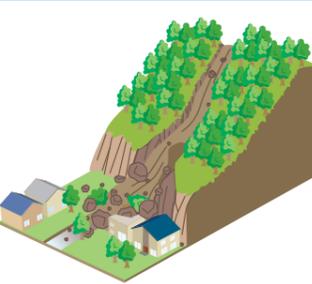
土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害が発生するのか、確認しておきましょう。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



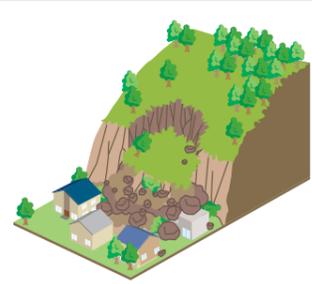
地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。

土石流



長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が、水と一体になって一気に下流へ押し流される現象です。一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

地すべり



大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動き出すものをいいます。

こんなときは要注意

土砂災害の前兆現象

五感	がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり	
視覚	山・斜面・がけ	●がけに割れ目が見える ●小石がパラパラと落ちてくる ●斜面がはらみだす	●溪流付近の斜面が崩れ出す ●落石が生じる	●地面がひび割れたり陥没したりする ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がった
	水	●表面流が生じる ●がけから水が噴き出る ●湧き水が濁る	●川の水が異常に濁る ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる ●土砂の流出	●沢や井戸の水が濁る ●斜面から水が噴き出る ●池や沼の水かさが増減する
	樹木	●樹木が傾く	●濁りに流木が混じる	●樹木が傾く
	その他	—	●溪流内の火花	●家や擁壁に亀裂が入る ●擁壁や電柱が傾く
聴覚	●樹木の根が切れる音がする ●樹木の揺れる音がする ●地鳴りがする	●地鳴りがする ●山鳴りがする ●転石のぶつかり合う音	●樹木の根が切れる音がする	
嗅覚	におい	●腐った土のにおいがする	—	

※上記は一般的な前兆現象です。すべての場所において必ず起きるというものではありません。

少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう

前兆現象を知り、早めに避難

土砂災害の発生前には、前兆現象がみられることがあります。上記のような現象が起こったときは、速やかに避難しましょう。

土石流に直面したときの逃げ方

土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。



避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理して、避難の手順について話し合っておきましょう。

- 状況により、早めに避難しましょう**
避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。暗くなってからの避難は危険です。
- 浸水時は足もとに注意**
マンホールや側溝などに足をとられないよう、長い棒などで確認しながら歩きましょう。
- 浸水時に長靴は厳禁**
避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。
- 浸水時に自動車での避難は危険**
普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。特に、アンダーパスなどの掘り下げた道路は、真っ先に浸水するため大変危険です。
- 防災メモを持とう**
事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。
- みんなで助け合おう**
単独での行動は避け、隣近所に声をかけ合い、みんなで避難しましょう。
- 持ち出し品は最小限に**
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- 安全なルートで避難**
避難経路は、川や水路沿い、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

水平避難(立ち退き避難)と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難はできるだけ避けなければいけません。



土砂災害から身を守るためのポイント

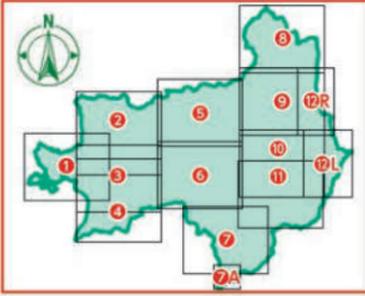
- 住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認**
土砂災害発生のおそれがある場所は「土砂災害(特別)警戒区域」に指定されています。普段から自分の家が土砂災害(特別)警戒区域にあるかどうか、ハザードマップで確認しましょう。
- 雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意**
雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意してください。テレビやラジオの気象情報で発表されるほか、気象庁のホームページから確認できます。
- 危険を感じたら早めに避難**
お年寄りや障害のある人など、避難に時間のかかる人は、移動時間を考えて早めに避難することが大切です。また、土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。どうしても緊急避難場所への移動が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。

長雨や豪雨に注意

1時間に20mm以上、または降り始めからの降雨量が100mm以上になった時には、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。



全域図



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)

土砂災害警戒区域

- 特別警戒区域
- 警戒区域
- がけ崩れ
- 土石流
- 地すべり

浸水想定区域

浸水深の目安	
10.0m~20.0m未満	3階以上浸水
5.0m~10.0m未満	2階浸水
3.0m~5.0m未満	床上浸水
0.5m~3.0m未満	床下浸水
0.5m未満	床下浸水

平成16年台風第23号浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)

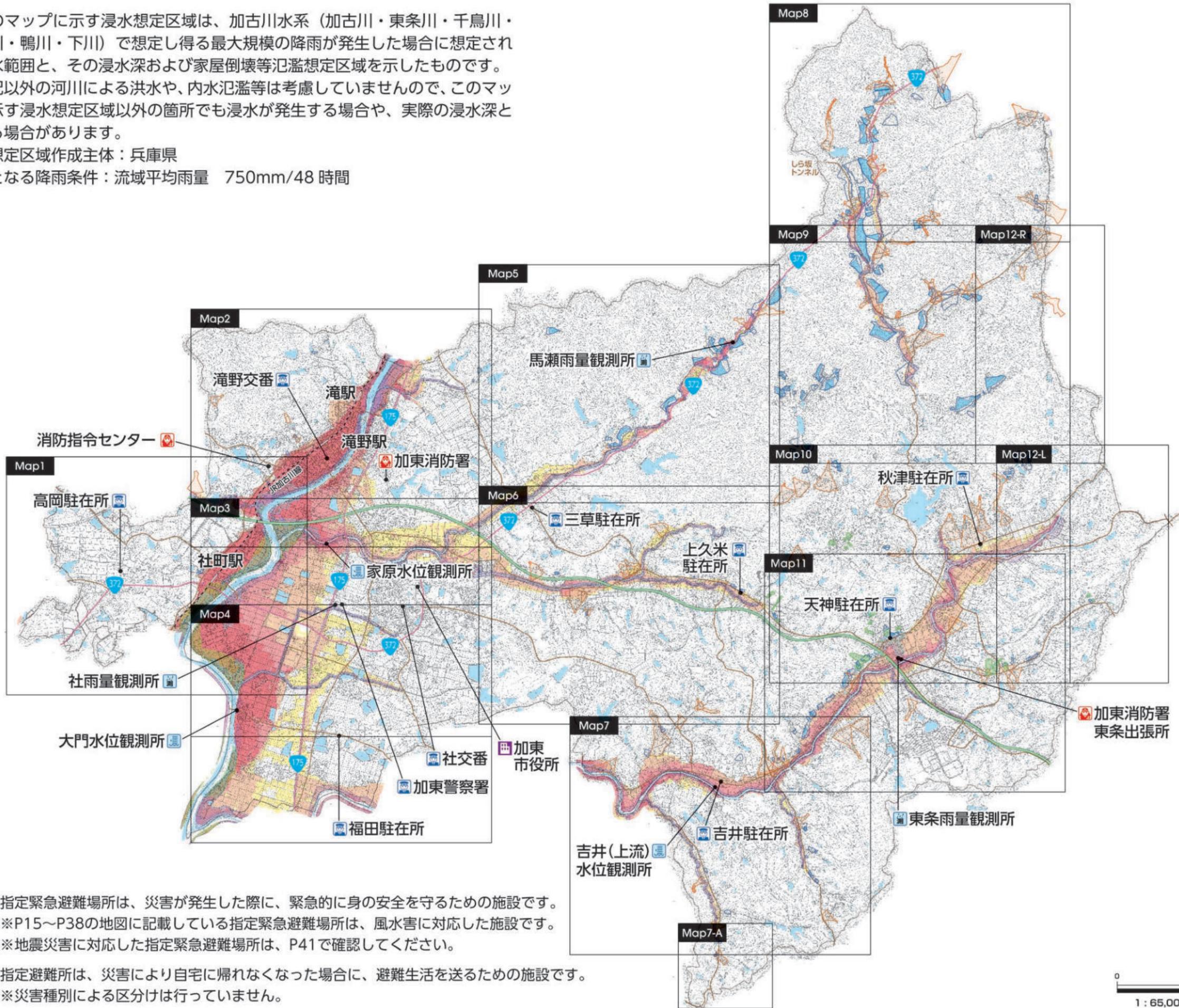
- 河岸侵食
- 氾濫流

このマップに示す浸水想定区域は、加古川水系（加古川・東条川・千鳥川・三草川・鴨川・下川）で想定し得る最大規模の降雨が発生した場合に想定される浸水範囲と、その浸水深および家屋倒壊等氾濫想定区域を示したものです。

上記以外の河川による洪水や、内水氾濫等は考慮していませんので、このマップに示す浸水想定区域以外の箇所でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

浸水想定区域作成主体：兵庫県

前提となる降雨条件：流域平均雨量 750mm/48時間



指定緊急避難場所は、災害が発生した際に、緊急的に身の安全を守るための施設です。
※P15~P38の地図に記載している指定緊急避難場所は、風水害に対応した施設です。
※地震災害に対応した指定緊急避難場所は、P41で確認してください。



指定避難所は、災害により自宅に帰れなくなった場合に、避難生活を送るための施設です。
※災害種別による区分けは行っていません。

このマップでは、1円玉や10円玉を使って距離やおよその歩行時間をはかることができます。

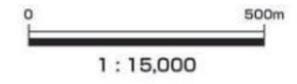
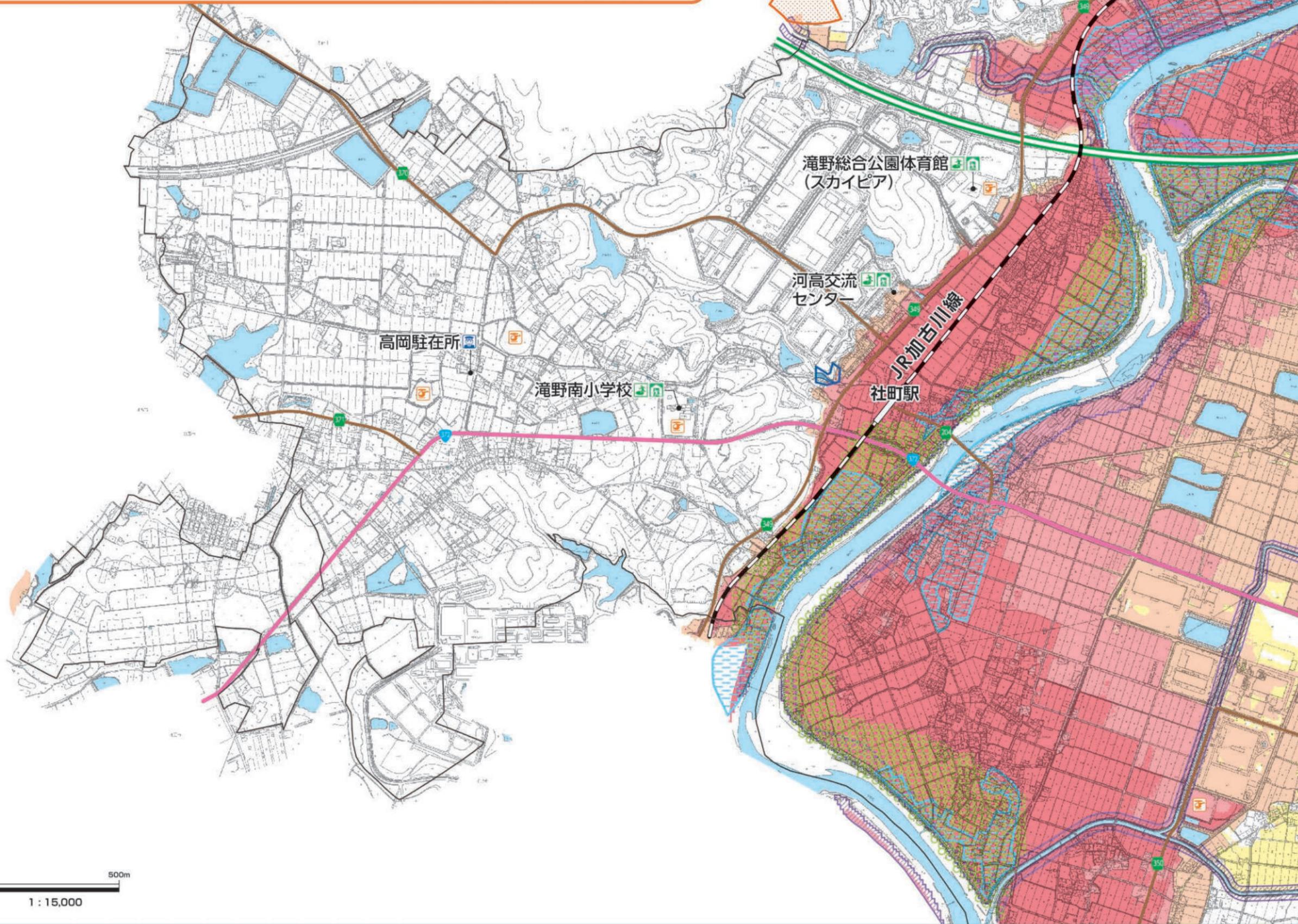
マップ上で
距離を
はかる

地図では
300m

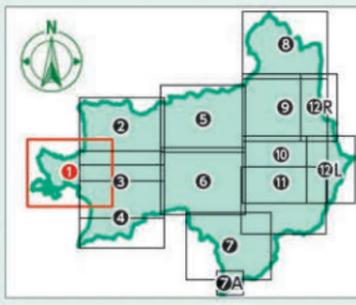
マップ上で
およその
時間を
はかる

一般の方	東日本大震災の 平均避難速度では	身体障がい者、 重病人等
およそ 6分 毎秒1.0m	およそ 10分 毎秒0.62m	およそ 12分 毎秒0.5m

※歩行速度参考：津波避難対策推進マニュアル検討会報告書



Map 1

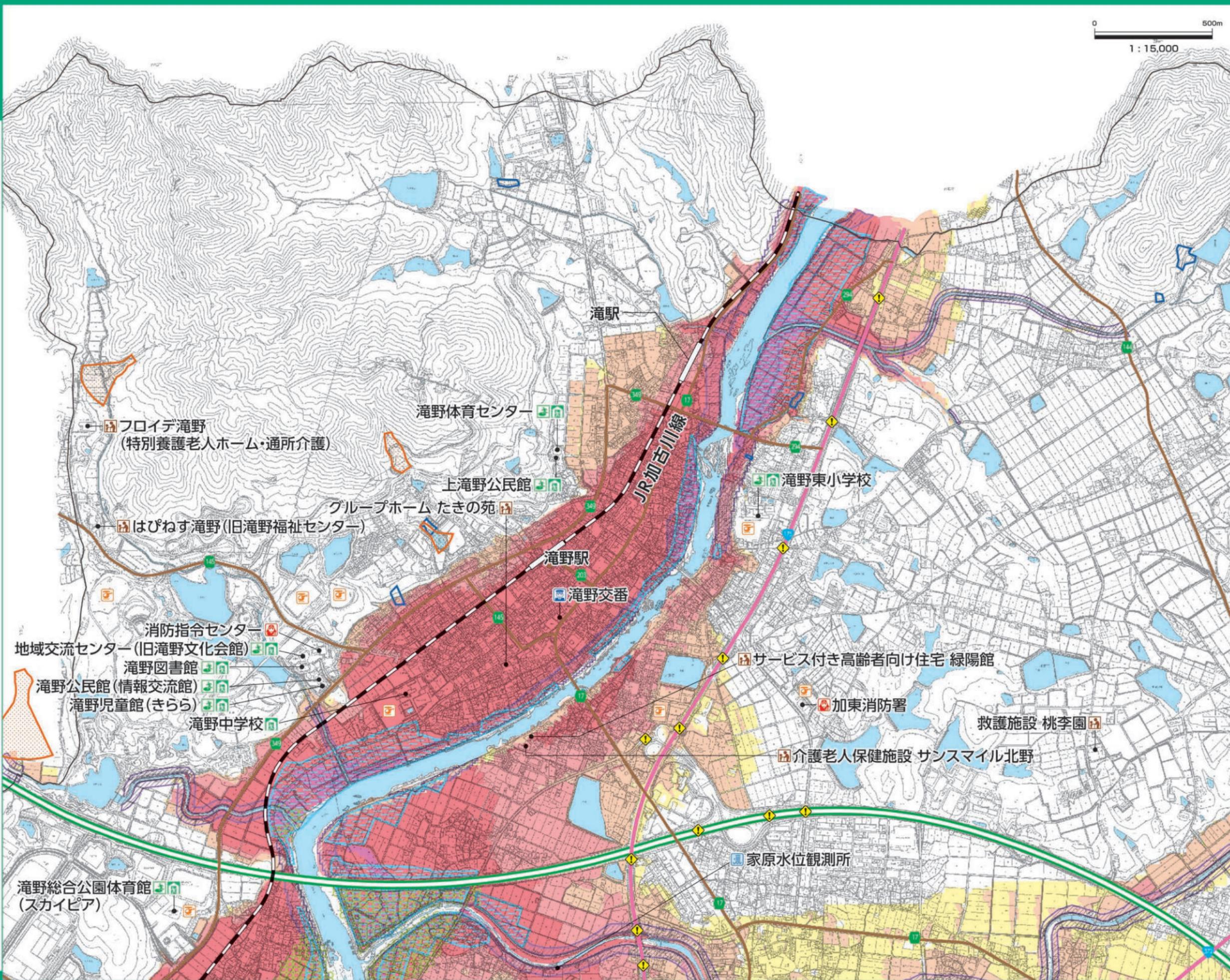


- 凡例
- | | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

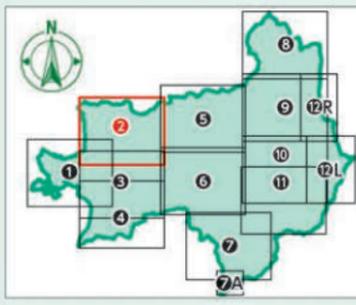
- 土砂災害警戒区域
- | | |
|--------|------|
| 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | |
| 土石流 | |
| 地すべり | |

- 浸水想定区域
- 浸水深の目安
- | | |
|---------------|------------|
| 10.0m~20.0m未満 | |
| 5.0m~10.0m未満 | 3階以上
浸水 |
| 3.0m~5.0m未満 | 2階浸水 |
| 0.5m~3.0m未満 | 床上浸水 |
| 0.5m未満 | 床下浸水 |
-

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
(早期避難が必要な区域)
- | | |
|--|--|
| | |
|--|--|



Map 2



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道 (JR)

土砂災害警戒区域

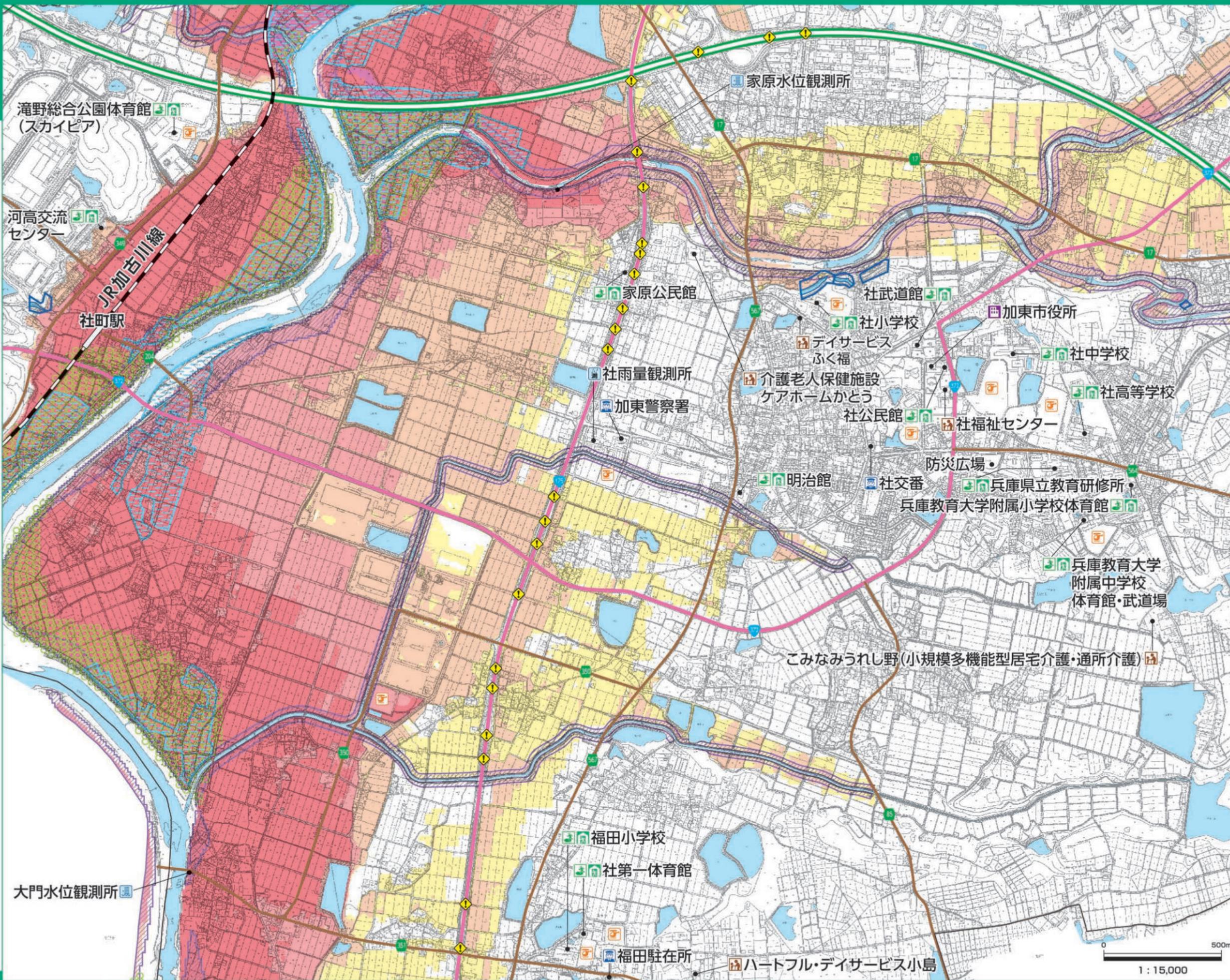
- | | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
|------|--------|------|
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

浸水想定区域

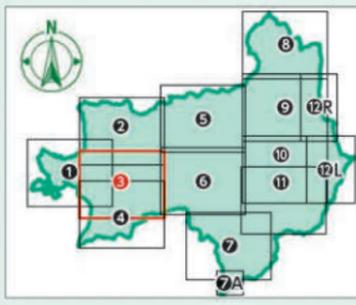
- | 浸水深の目安 | | |
|--------|---------------|--------|
| | 10.0m~20.0m未満 | |
| | 5.0m~10.0m未満 | 3階以上浸水 |
| | 3.0m~5.0m未満 | 2階浸水 |
| | 0.5m~3.0m未満 | 床上浸水 |
| | 0.5m未満 | 床下浸水 |
- 平成16年台風第23号浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流



Map 3



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道 (JR)

土砂災害警戒区域

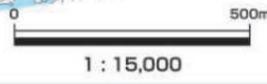
- | | | |
|------|--------|------|
| | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

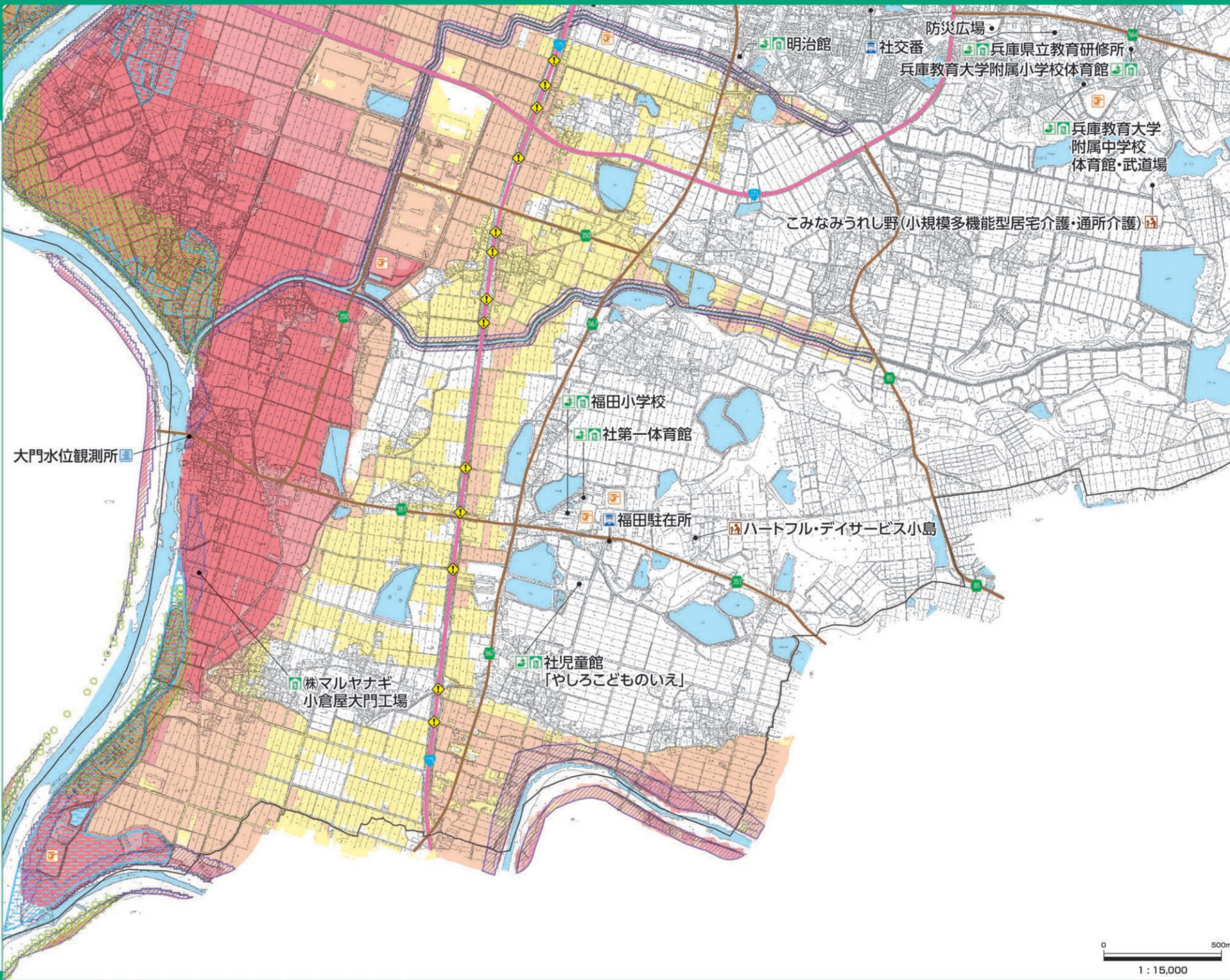
浸水想定区域

- 浸水深の目安
- | | | |
|--|---------------|--------|
| | 10.0m~20.0m未満 | |
| | 5.0m~10.0m未満 | 3階以上浸水 |
| | 3.0m~5.0m未満 | 2階浸水 |
| | 0.5m~3.0m未満 | 床上浸水 |
| | 0.5m未満 | 床下浸水 |
- 平成16年台風第23号浸水実績

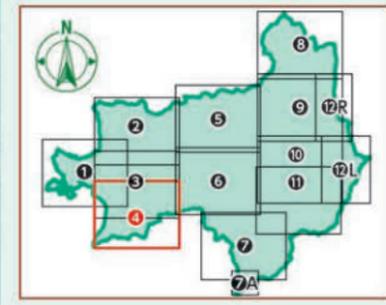
家屋倒壊等氾濫想定区域
(早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流





Map4



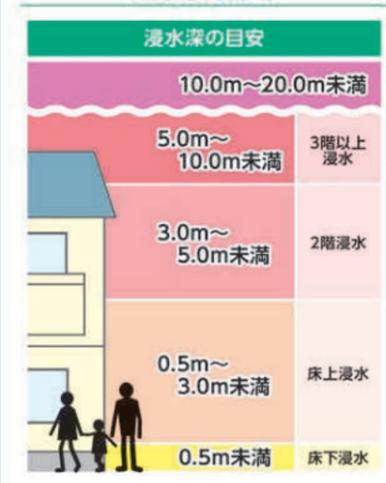
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)

土砂災害警戒区域

- 特別警戒区域
- 警戒区域
- がけ崩れ
- 土石流
- 地すべり

浸水想定区域

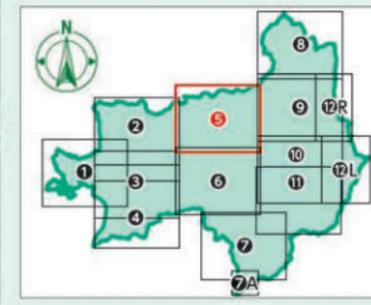
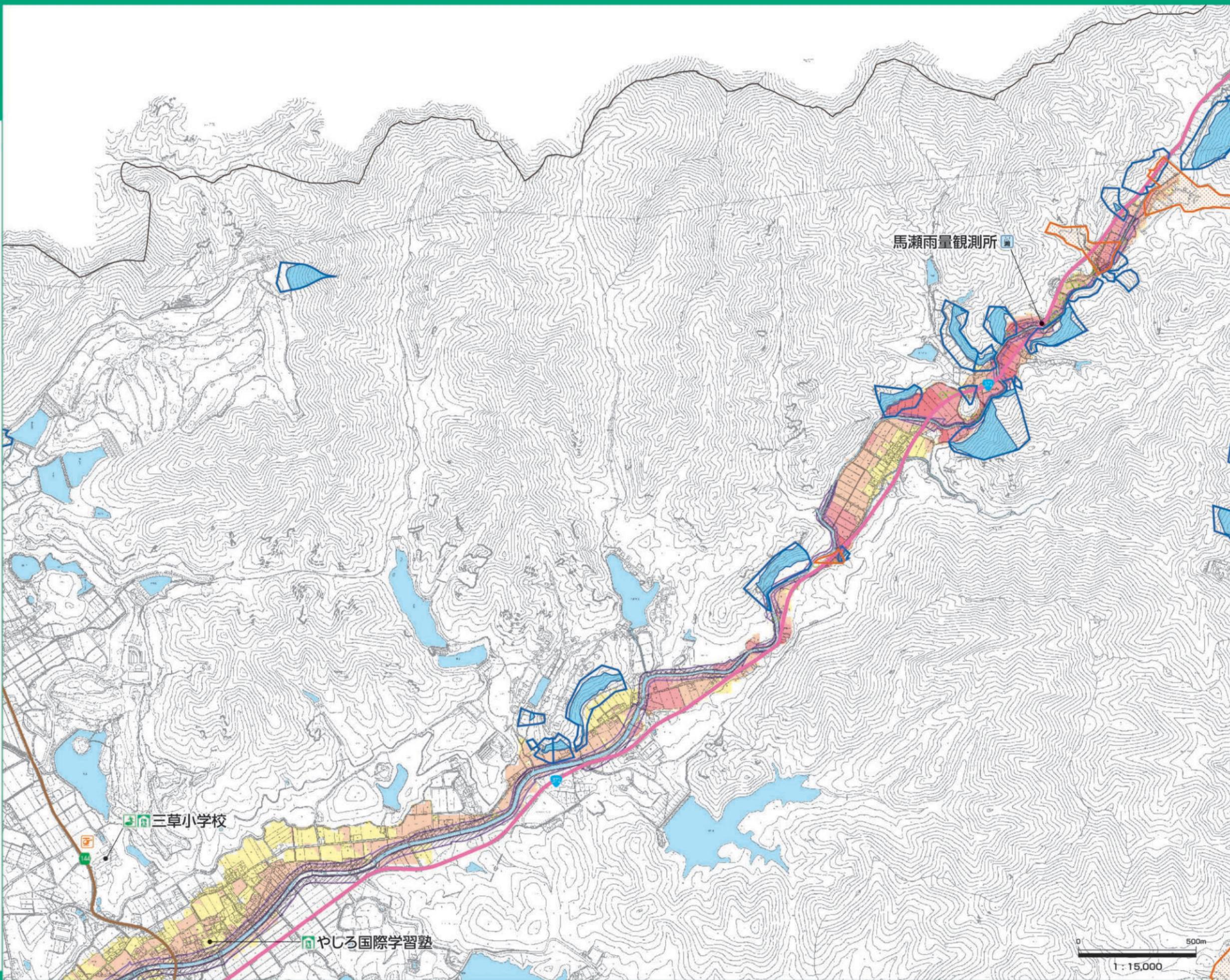


家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流



Map 5



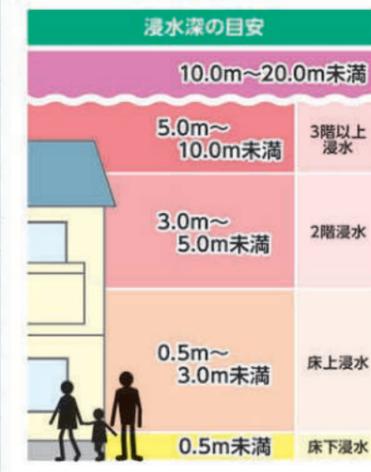
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道 (JR)

土砂災害警戒区域

- | | | |
|------|--------|------|
| | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

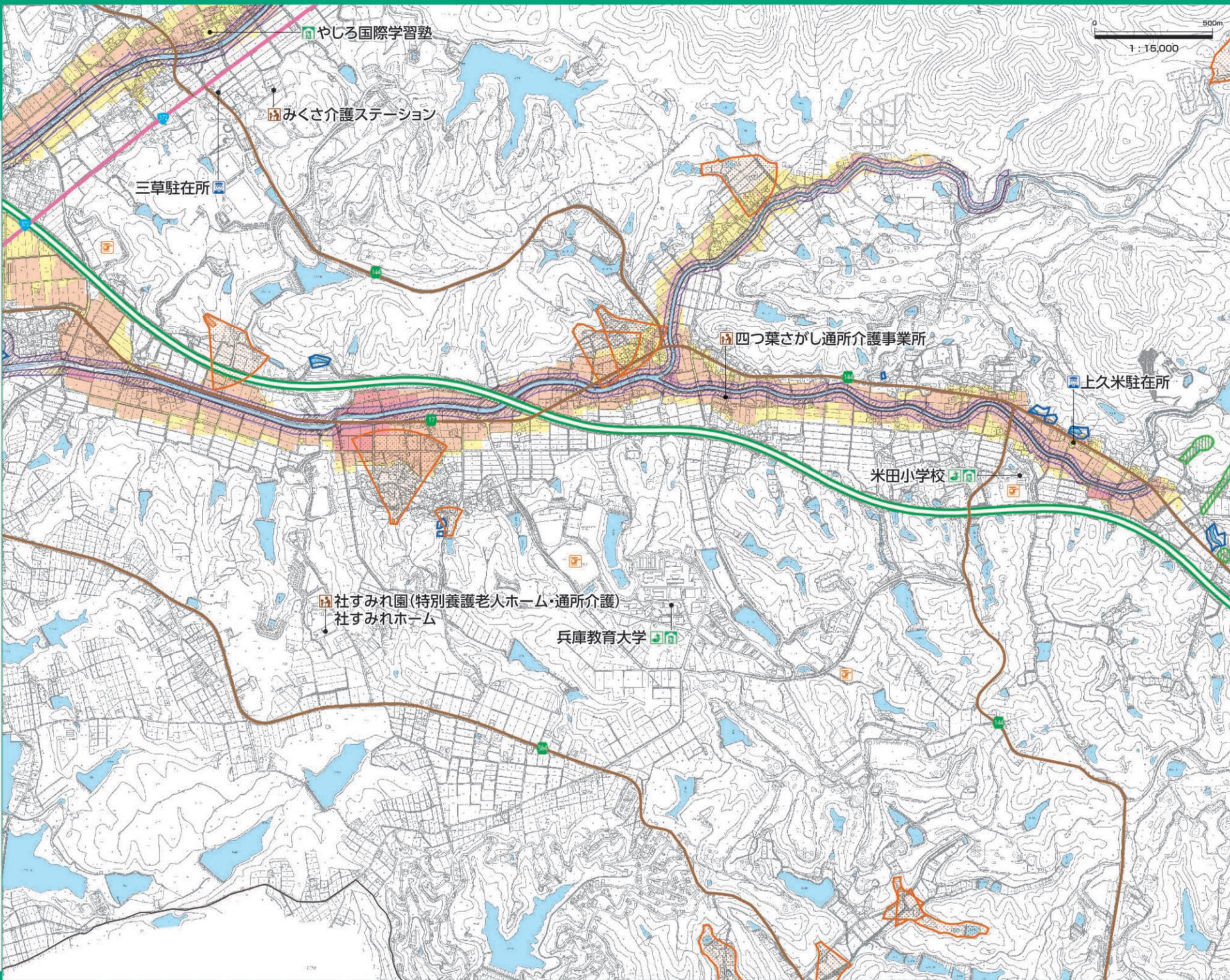
浸水想定区域



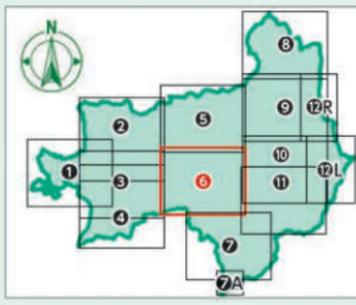
平成16年台風第23号浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流



Map 6



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)

土砂災害警戒区域

- | | | |
|------|--------|------|
| | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

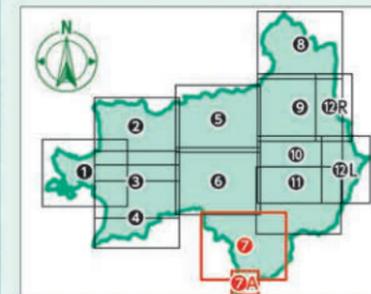
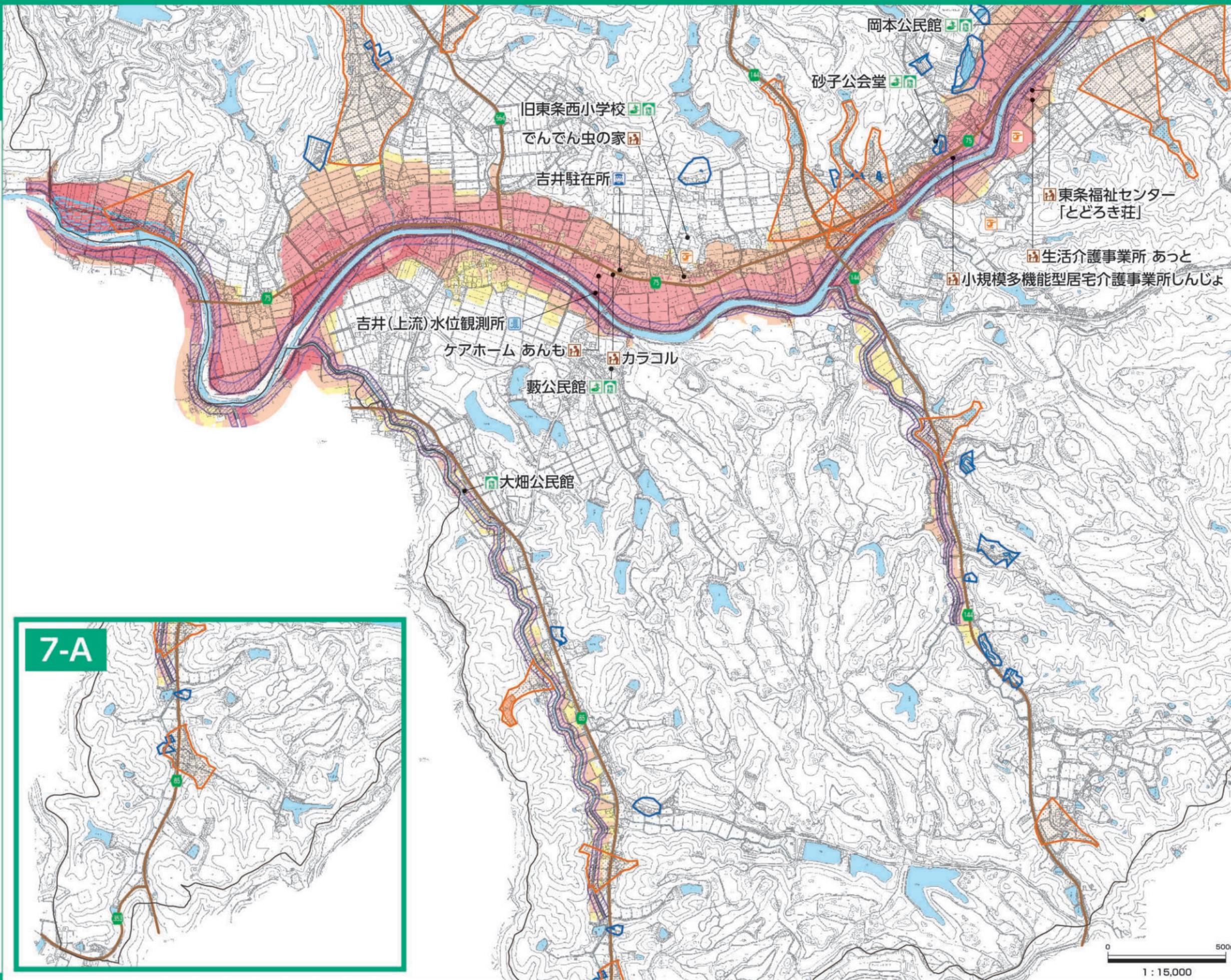
浸水想定区域

- 浸水深の目安
- | | | |
|--|---------------|--------|
| | 10.0m~20.0m未満 | |
| | 5.0m~10.0m未満 | 3階以上浸水 |
| | 3.0m~5.0m未満 | 2階浸水 |
| | 0.5m~3.0m未満 | 床上浸水 |
| | 0.5m未満 | 床下浸水 |

平成16年台風第23号浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流



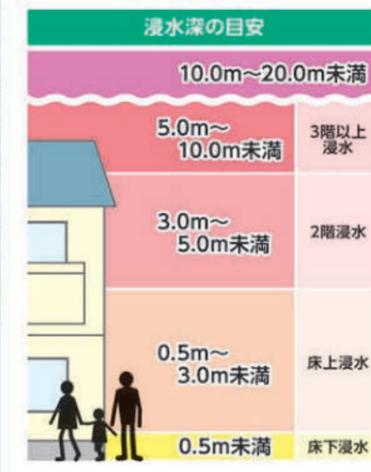
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)

土砂災害警戒区域

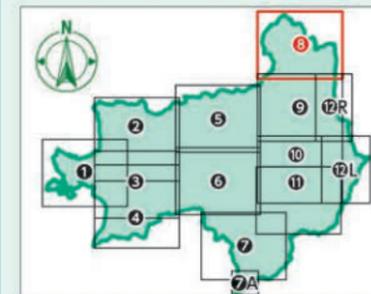
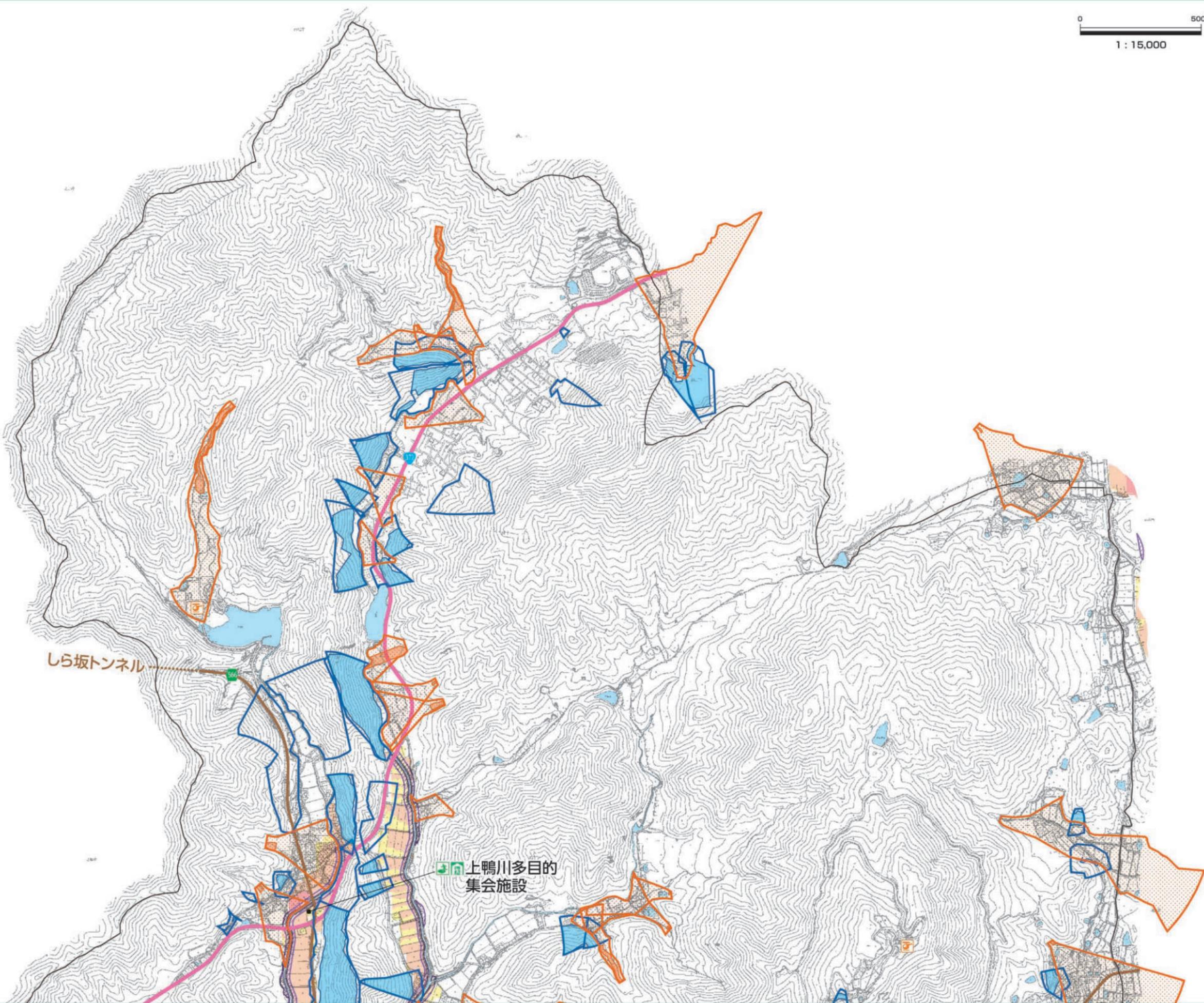
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- がけ崩れ
- 土石流
- 地すべり

浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域(早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流



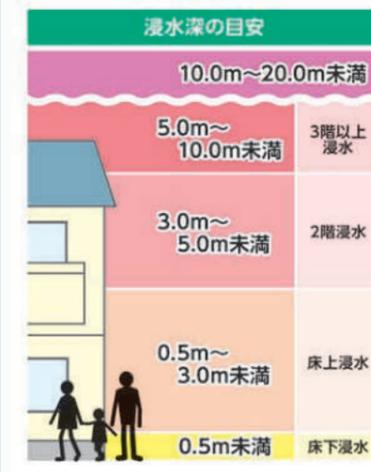
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道 (JR)

土砂災害警戒区域

- | | | |
|------|--------|------|
| | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

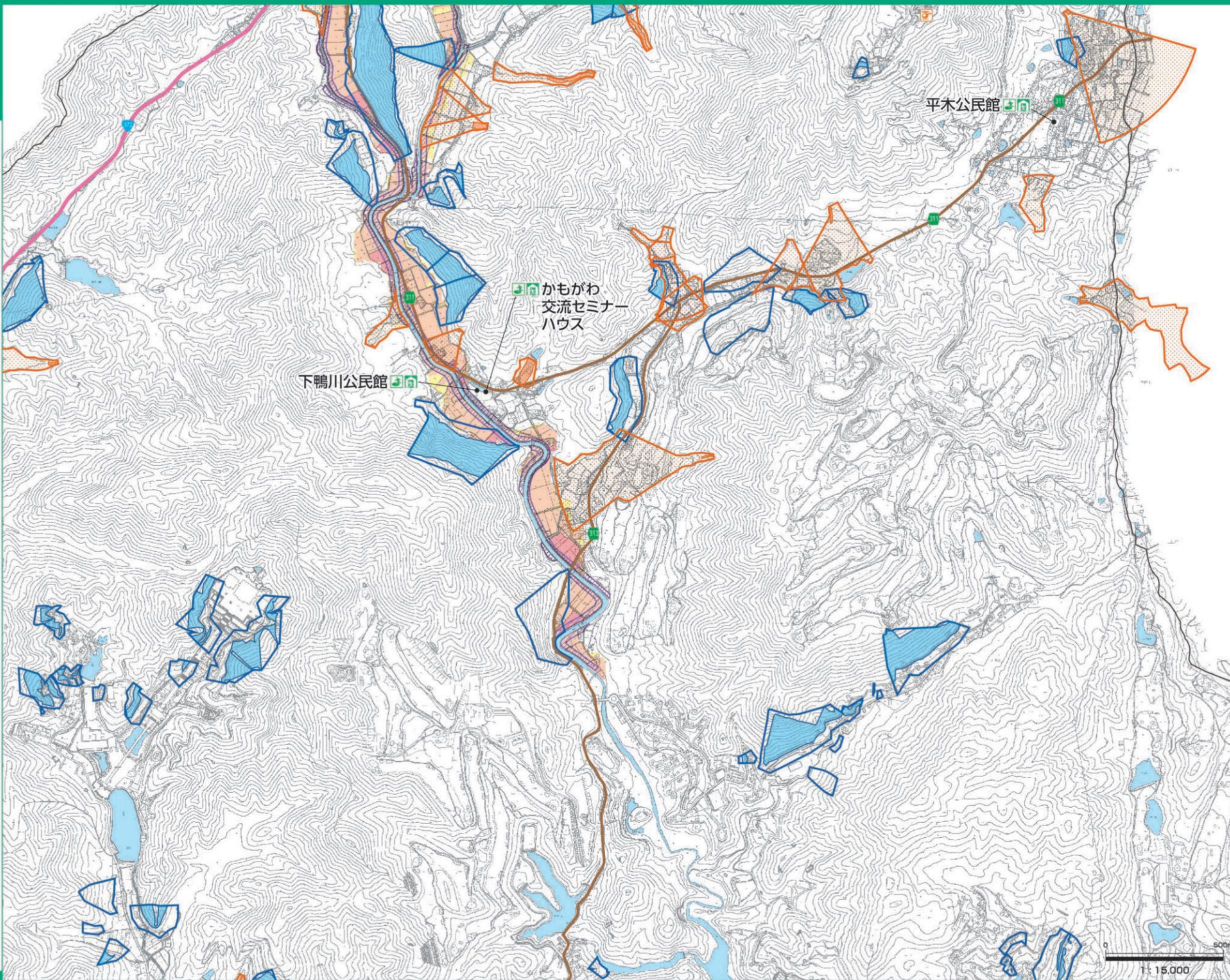
浸水想定区域



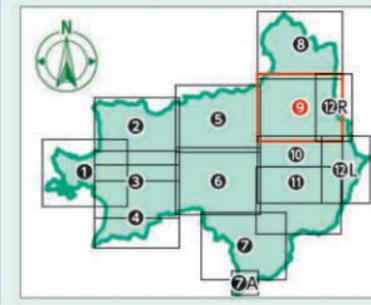
平成16年台風第23号浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域
(早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流



Map9



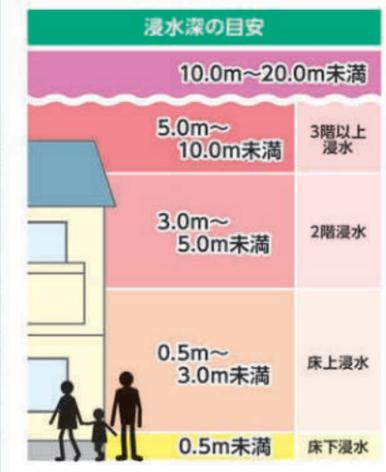
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道 (JR)

土砂災害警戒区域

- | | | |
|------|--------|------|
| | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

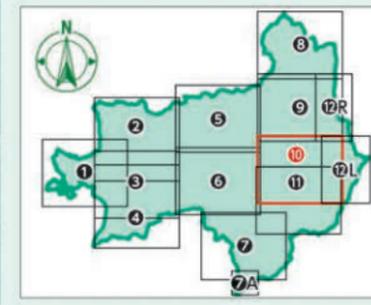
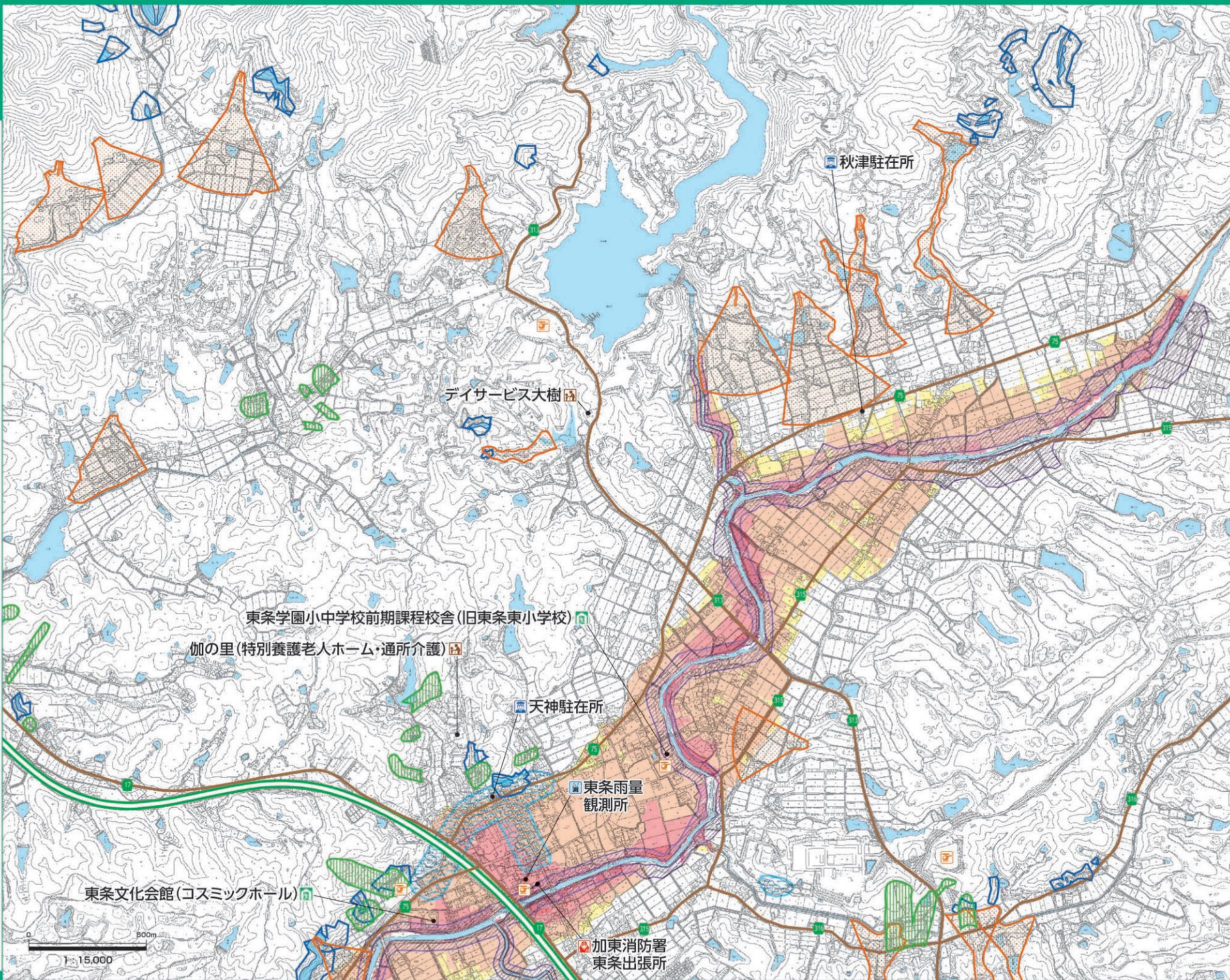
浸水想定区域



平成16年台風第23号浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流



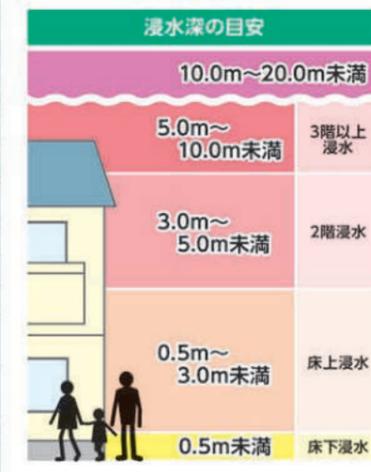
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)

土砂災害警戒区域

- | | | |
|------|--------|------|
| | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

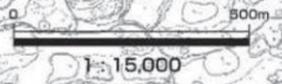
浸水想定区域

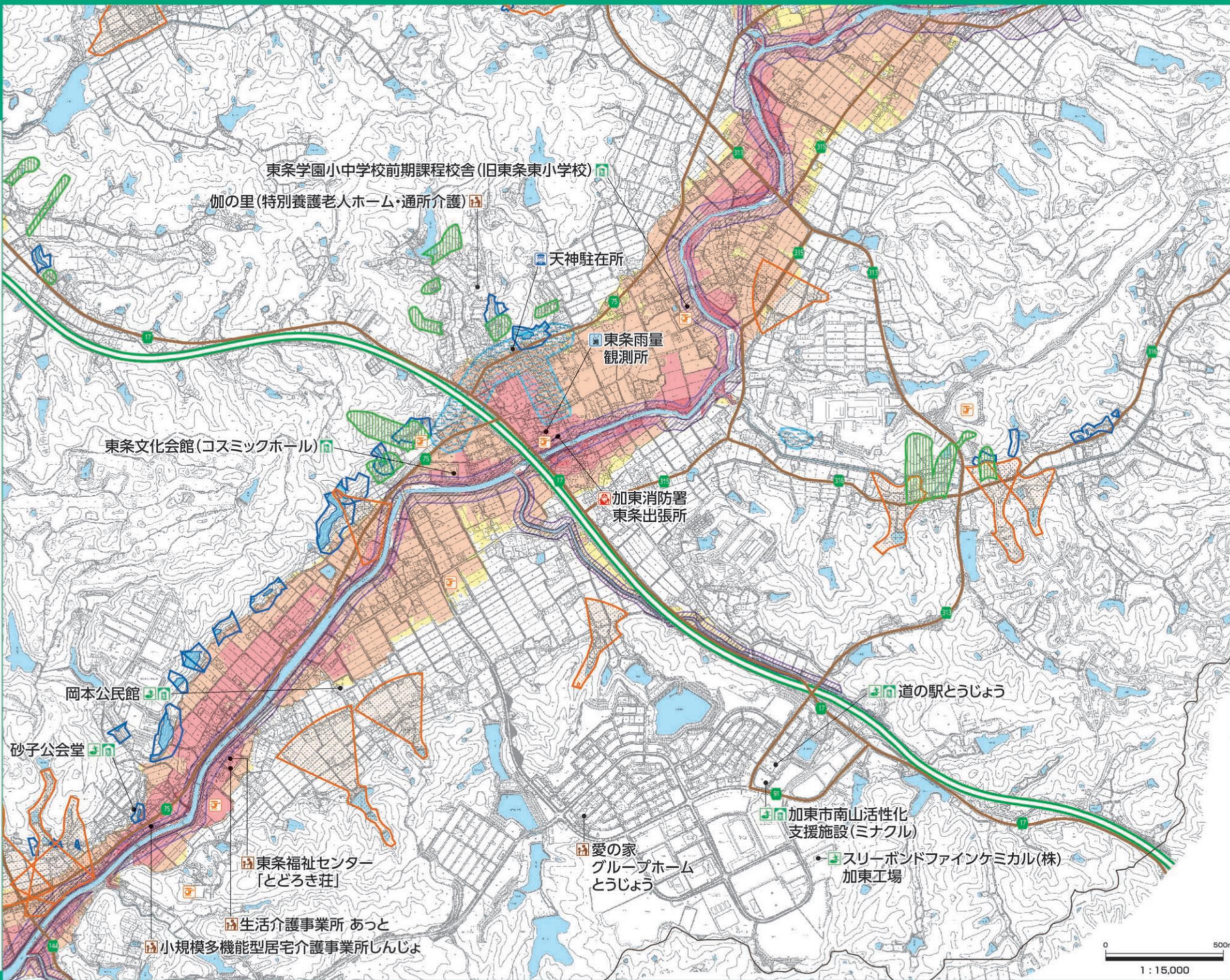


平成16年台風第23号浸水実績

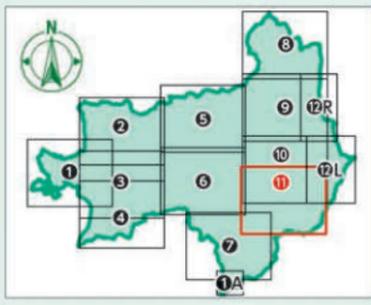
家屋倒壊等氾濫想定区域(早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流





Map 11



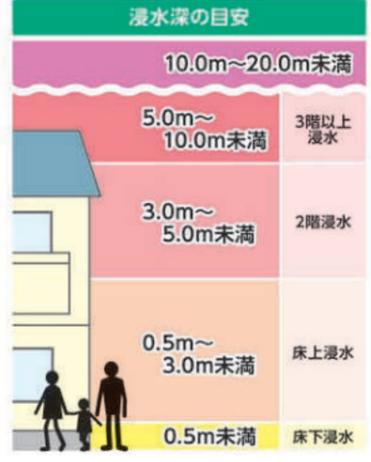
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道 (JR)

土砂災害警戒区域

- | | | |
|------|--------|------|
| | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

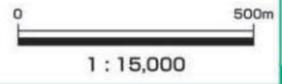
浸水想定区域

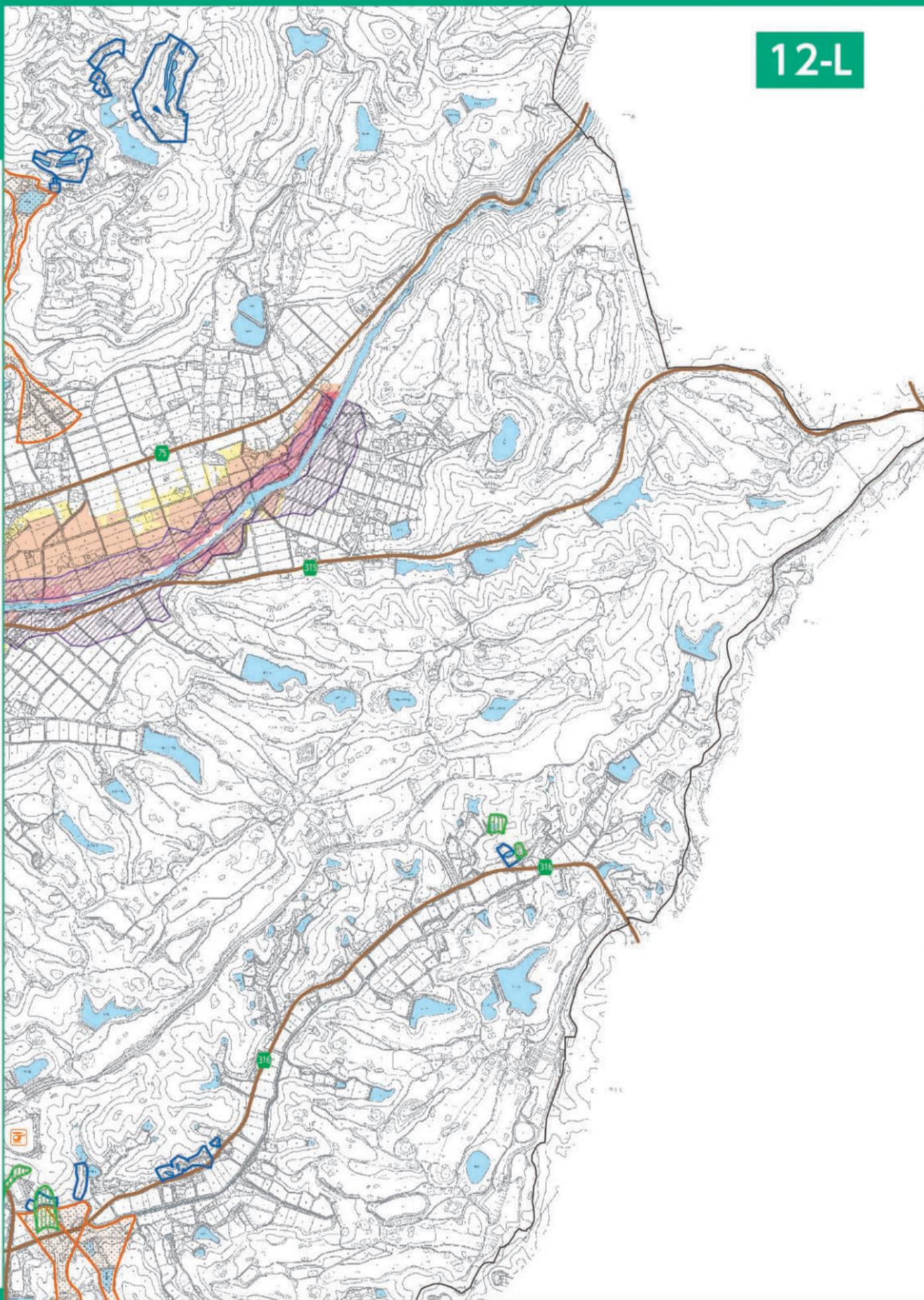


平成16年台風第23号浸水実績

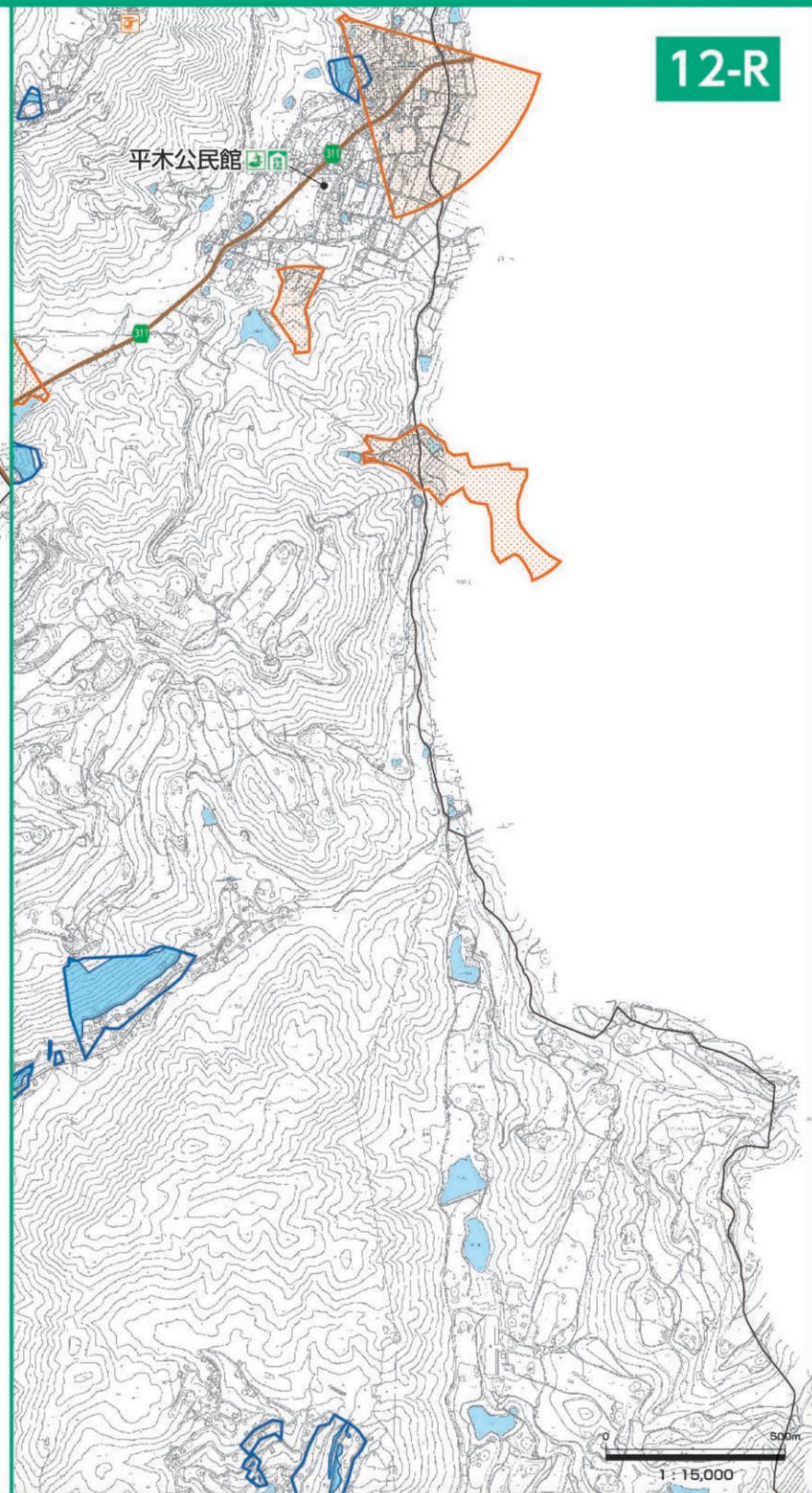
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流



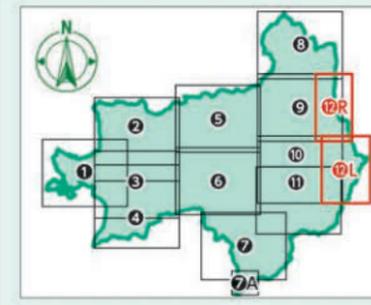


12-L



12-R

Map12



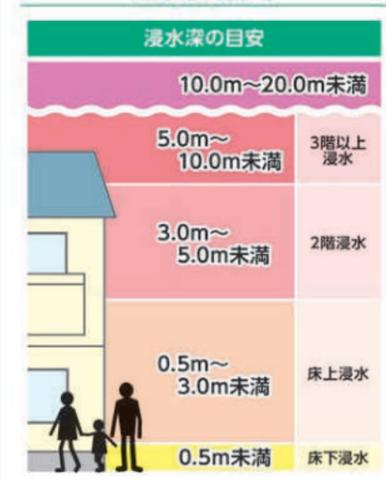
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 消防
- 警察
- 雨量観測所
- 水位観測所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)

土砂災害警戒区域

- | | | |
|------|--------|------|
| | 特別警戒区域 | 警戒区域 |
| がけ崩れ | | |
| 土石流 | | |
| 地すべり | | |

浸水想定区域



平成16年台風第23号浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)

- 河岸侵食
- 氾濫流

ため池
ハザードマップ

凡例

-  市役所
-  消防署
-  警察署
-  雨量観測所
-  水位観測所
-  高速道路
-  国道
-  県道
-  鉄道(JR)

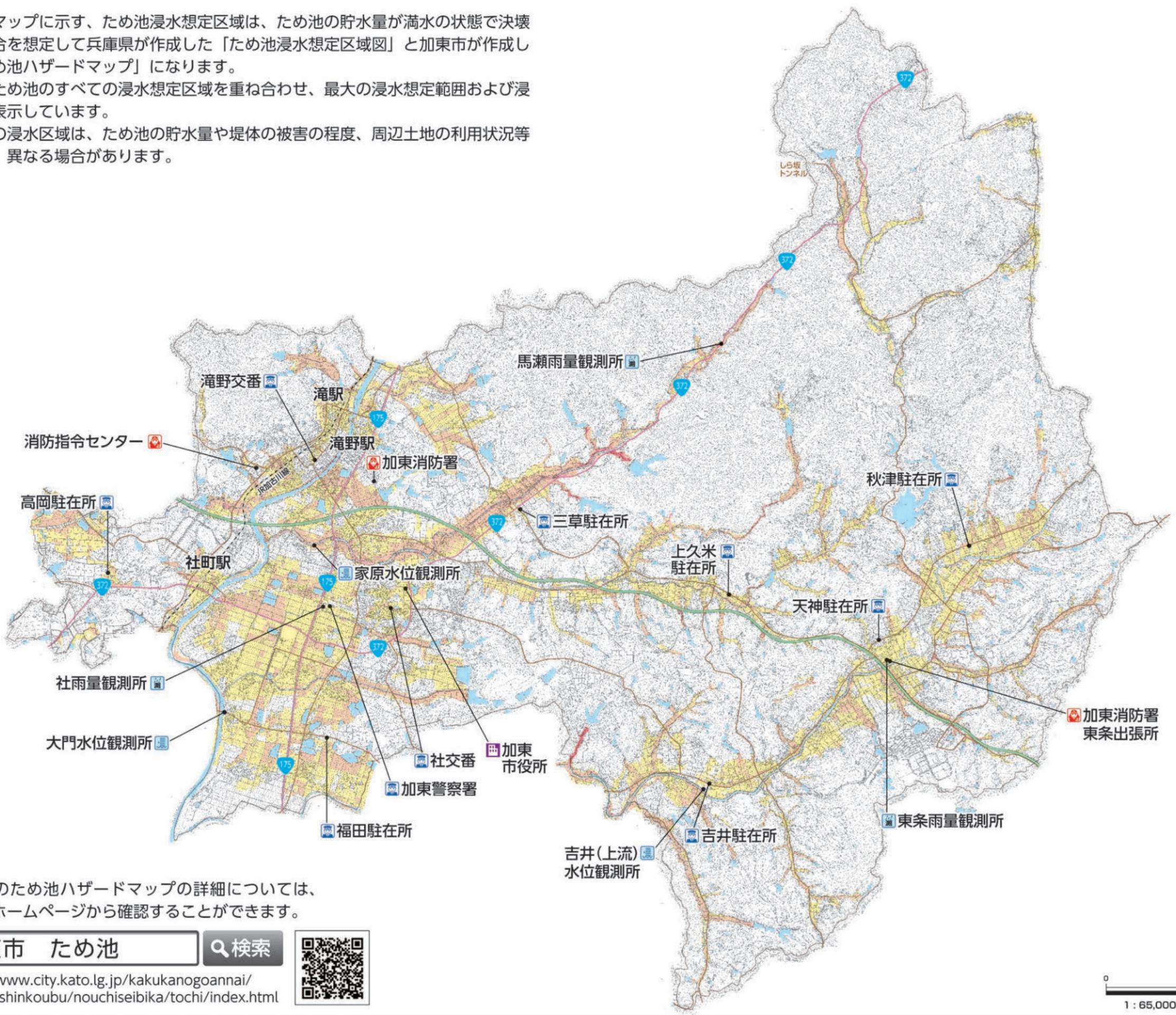
浸水想定区域

浸水深の目安	
10.0m~20.0m未満	
5.0m~10.0m未満	3階以上 浸水
3.0m~5.0m未満	2階浸水
0.5m~3.0m未満	床上浸水
0.5m未満	床下浸水

このマップに示す、ため池浸水想定区域は、ため池の貯水量が満水の状態で決壊した場合を想定して兵庫県が作成した「ため池浸水想定区域図」と加東市が作成した「ため池ハザードマップ」になります。

対象ため池のすべての浸水想定区域を重ね合わせ、最大の浸水想定範囲および浸水深を表示しています。

実際の浸水区域は、ため池の貯水量や堤体の被害の程度、周辺土地の利用状況等により、異なる場合があります。



市内のため池ハザードマップの詳細については、以下のホームページから確認することができます。

加東市 ため池

🔍 検索



<https://www.city.kato.lg.jp/kakukanogoannai/sangyoushinkoubu/nouchiseibika/tochi/index.html>



◆いざというときの連絡先

機関名	連絡先	機関名	連絡先
加東市役所	0795-42-3301	関西電力送配電(株)	0800-777-3081
加東消防署	0795-42-0119	大阪ガス(株) (ガス漏れ通報専用)	0120-7-19424
加東警察署	0795-42-0110	大阪ガス(株) (お客さまセンター)	0120-7-94817
加東市民病院	0795-42-5511	NTT (電話の故障)	113

◆避難施設一覧(令和3年4月現在)

加東市では、災害時に備えて以下のとおり指定緊急避難場所および指定避難所を定めています。

No.	施設名称	所在地	電話番号	指定緊急避難場所		指定避難所	掲載ページ
				風水害	地震		
1	社公民館	木梨1134-60	42-2600	○	○	○	20
2	社武道館	木梨1131	42-5761	○	○	○	20
3	明治館	社777	42-8180	○	○	○	20・22
4	社中学校	木梨1134-62	42-0152	○	○	○	20
5	社小学校	社1550	42-0004	○	○	○	20
6	社高等学校	木梨1356-1	42-2055	○	○	○	20
7	社第一体育館	沢部613-1	-	○	○	○	19・21
8	福田小学校	沢部613-1	42-1043	○	○	○	19・21
9	米田小学校	上久米1693	44-0004	○	○	○	26
10	兵庫教育大学	下久米942-1	44-2010	○	○	○	25
11	兵庫教育大学附属小学校体育館	山国2013-4	40-2216	○	○	○	20・22
12	兵庫教育大学附属中学校体育館・武道場	山国2007-109	40-2222	○	○	○	20・22
13	三草小学校	上三草118	42-0221	○	○	○	23
14	やしる国際学習塾	上三草1175	42-7700	○	○	○	23・25
15	上鴨川多目的集会施設	上鴨川392	45-1026	○	○	○	29
16	下鴨川公民館	下鴨川209-1	45-1116	○	○	○	31
17	かもがわ交流セミナーハウス	下鴨川260-3	45-0288	○	○	○	31
18	平木公民館	平木224-1	45-0300	○	○	○	32・38
19	滝野東小学校	新町88	48-2037	○	○	○	18
20	滝野体育センター	上滝野1167-5	48-5833	○	○	○	17
21	上滝野公民館	上滝野1167-1	48-0680	○	○	○	17
22	滝野中学校	下滝野761	48-2032	○	○	○	16・17
23	地域交流センター(旧滝野文化会館)	下滝野1369-1	48-3007	○	○	○	16・17
24	滝野図書館	下滝野1369-2	48-3003	○	○	○	16・17
25	滝野公民館(情報交流館)	下滝野1369	48-3073	○	○	○	16・17
26	滝野児童館(きらら)	下滝野1369-2	48-0765	○	○	○	16・17
27	滝野総合公園体育館(スカイピア)	河高4007	48-2566	○	○	○	16・17・19
28	河高交流センター	河高4026-3	48-5691	○	○	○	16・19
29	滝野南小学校	高岡949	48-2162	○	○	○	15
30	東条文化会館(コスミックホール)	天神66	47-1500	○	○	○	33・35
31	東条学園小中学校前期課程校舎(旧東条東小学校)	掬鹿谷56	47-0044	○	○	○	33・35
32	道の駅とうじょう	南山1丁目5-1	47-2400	○	○	○	36
33	岡本公民館	岡本247-1	46-2020	○	○	○	28・35
34	旧東条西小学校	吉井298	46-0044	○	○	○	27
35	藪公民館	藪133	46-0592	○	○	○	27
36	兵庫県立教育研修所	山国2006-107	42-3100	○	○	○	20・22
37	社児童館「やしるこどものいえ」	東古瀬477-1	42-8543	○	○	○	21
38	南山活性化支援施設(ミナクル)	南山1丁目4-2	20-6245	○	○	○	36
39	砂子公会堂	新定191-2	-	○	○	○	28・35
40	スリーボンドファインケミカル(株)加東工場	南山6丁目3-11	47-5588	○	○	○	36
41	家原公民館	家原365-1	42-4430	○	○	○	19
42	大畑公民館	大畑459-2	65-5055	○	○	○	27
43	(株)マルヤナギ小倉屋大門工場	大門67	42-7621	○	○	○	21

※指定避難所…災害により自宅に帰れなくなった場合に、避難生活を送るための施設です。 ※指定緊急避難場所…災害が発生した際に、緊急的に身の安全を守るための施設です。

◆インターネットによる情報入手先

兵庫県防災(気象)情報

県内の警報の発令状況や観測情報を提供
<http://web.bosai.pref.hyogo.lg.jp/>



神戸地方気象台(気象庁)

県内の気象予報、防災情報、観測情報などを提供
<https://www.jma-net.go.jp/kobe-c/home/index.html>



川の防災情報(国土交通省)

河川に関する防災情報を公開・提供
<https://www.river.go.jp/>



リアルタイムレーダー(国土交通省)

全国の雨量情報をリアルタイムで提供
<https://www.jma.go.jp/jp/realtimerad/>



兵庫県CGハザードマップ

県内の様々な情報を地図情報で提供
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>



加東市役所

加東市の最新情報を提供
<https://www.city.kato.lg.jp/>



◆ひょうご防災ネット(スマートフォンアプリ)

「ひょうご防災ネット」は、防災行政無線、広報車等の既存の情報伝達手段に加えて、携帯電話のメール機能やホームページ機能を利用して、災害発生時等の緊急時に、緊急気象情報(地震、津波、気象警報、特別警報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報、竜巻注意情報等)や避難情報等をいち早く県民・市民の方々に発信するシステムです。

平常時には、防災の心得、防災訓練の案内等の緊急時に備えた防災情報を掲載しています。また、**マイ避難カード**を作ることもできます。是非アプリをダウンロードしてください。



◆テレビによる情報入手例

- 1 **NHK総合テレビ**を表示し、リモコンの「**d(データ放送)**」ボタンを押してください。
- 2 リモコンの矢印で「**防災・生活情報**」に合わせ、「**決定**」ボタンを押してください。
- 3 市から情報が発信されていれば、「**避難情報(準備・勧告・指示)**」、「**避難所開設情報**」ボタンが赤くなるので、選択するとそれぞれの情報が表示されます。
※県内のどこの地域にも情報がない場合は、ボタンがグレーになります(選択できません)。



※dボタンの位置や形状は機種によって異なります。

◆災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水などの大規模災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、「声の伝言板」(安否情報)の役割をするNTTの電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生を行うことができます。

※携帯電話各社でも同様のサービスを提供しています。

災害用伝言ダイヤル 171

伝言の録音方法

- 1 「171」をダイヤル
- 2 「1」を押す
- 3 被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤル
- 4 伝言を録音する

伝言の再生方法

- 1 「171」をダイヤル
- 2 「2」を押す
- 3 被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤル
- 4 伝言を再生する

体験利用日 毎月1日・15日、正月三が日、および防災週間、防災とボランティア週間にダイヤルすると体験利用ができます。



加東市

兵庫県加東市社50番地 TEL.0795-42-3301 (代表)
(令和3年3月発行)